

<第196号>

事務局だより

令和元年9月10日発行

現在の会員数

合計 194名

(男性 132名)

(女性 62名)

□10月16日は「シルバーの日」！

毎年10月の第3水曜日を「シルバーの日」と定め、シルバー人材センター事業の普及啓発活動を県内一斉に行うものです。今年は10月16日(水)に実施します。

会員の皆さんで、地域への社会奉仕活動とチラシ配布によるPR活動を行いますので、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

1. 日 時 10月16日(水) 午前8時45分～午前11時
 2. 集合場所 シルバー事務所前
 3. 実施場所 かぐじ広場・駅前広場
 4. 内 容 落葉の掃き掃除、花壇等の除草、草刈りや枝払い
 5. 持ち物 草取り鎌、熊手、竹ぼうき、軍手、雨具など
 6. 申 込 10月11日(金)までに事務局へ電話で申し込んでください。
 7. 備 考 参加者全員に、弁当とお茶を配布します。
- ※ 弁当の手配があるので、必ず申込みしたうえでご参加ください。
※ 当日の飛び入り参加も大歓迎ですが、弁当は渡りませんのでご了承ください。

□第16回グランドゴルフ大会開催！！

互助会主催のグランドゴルフ大会を行ないます。昨年度の上位入賞者にはハンディがありますので、初心者でも入賞するチャンスがあります。

多くの方楽しんでいただくために、盛り沢山の豪華景品をご用意していますので、上位入賞を目指し皆さんふるってご参加ください。

1. 日 時 9月27日(金) 午前8時30分～正午
2. 集合場所 御幸公園
3. 定 員 20名
4. 申 込 9月19日(木)
5. 備 考 小雨決行、用具は貸出します。

□善行紹介

会員の工藤キクエさんが、事務所の周囲の草取りをしてくれました。いつもありがとうございます。丁寧な作業でとても綺麗になりました。

□理事長のつぶやき ～焼き鳥ではない“烏城焼き”～

先日、地元紙の津軽新報に登り窯の世界最長103メートルを誇る烏城焼（代表・今井理桂氏）が紹介されたが、このニュースで十数年前の秋に中学校の同級生5人で、十和田湖へ遊びに行った帰りのことが脳裏をかすめた。

帰宅時の午後4時頃、中野から温湯を通過したとき東京の友達が「この辺に焼き鳥屋があるので行きたい」という。他の連中と顔を見合わせ「焼き鳥屋はない、何かの間違いでは」と言ったら「大きな看板を見たことがある」と言うので、よく考えたら豊岡にある“烏城焼”の陶器工房があることに気づき、そのことで大笑いしたことを思い出したのだ。

当然その夜は、黒石の駅前の焼き鳥屋さんへ行ってビールや熱燗で盃を交わし、焼き鳥に舌鼓みを打ったことは言う迄もないが……。

小生は、陶器にはさほど興味はないが、しかし“般若湯”を入れる“徳利”や“ちろり”、“銚子”や“お猪口”、そして酒の肴に関心があって、どうすれば旨い一杯を楽しめるかいつも考えている。

県内では、烏城焼や金山焼（五所川原市）など近年は全国的に有名な工房が相次いで造られ、活躍ぶりが紹介されるなど陶器文化の向上に尽力されている陶人が注目されている。

そこで登り窯を少し紹介します。（にわか仕込ですが……）

陶磁器を焼く窯は、普通は一つの窯の焼成室（房室）で焼いているが、登り窯は傾斜地に下から上に向かって複数の焼成室が連なっていることから、名前が付いたと言われる。各室の天井はカマボコ形をしていて焼成室1個1個の間は隙間があり、下の窯から焚き出した火が登って行くようになっており、下室の余熱が上室へ続いて行くように工夫されていることが大きな特徴である。

この窯は、戦国時代（約500年前）に朝鮮半島や中国から生産技術が伝わり、佐賀県の伊万里焼や鍋島焼、長崎県の唐津焼、岐阜県の織部焼、山口県の萩焼が近世の陶器として名声を得た。江戸時代後半には、全国各地へ普及し地方色豊かな陶器が生産されるようになったと紹介されている。

9月に入って台風が通過し暑さが続いているが、十五夜を過ぎると一気に秋の涼風が吹き、稲刈りをはじめ林檎もぎなど、収穫の喜びが溢れる実りの秋がやってきます。今後は大型台風が来ないことを祈ると共に、秋の夜長に烏城焼の黒石盃（実際にはないが）で気が置けない連中と一献を傾けたらと思う熱燗の季節の到来でもある。

| | |
|-------|---------------------------|
| 発行 | 公益社団法人黒石市シルバー人材センター |
| | 〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1 |
| TEL | 0172-52-5131 |
| 緊急連絡先 | 080-6011-5131 |